

「いわき市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定」の取り組みによる効果
 (平成21年2月～平成22年1月)

レジ袋無料配布中止の取り組み等により、マイバッグ等持参率は1年間平均で82%となったことから、取り組み開始前の協定締結事業者の使用枚数等から効果を算出しました。

●レジ袋の削減量

レジ袋の削減効果 約 33,699,000 枚

1日当たり 92,326枚のレジ袋削減 (33,699,000枚 / 365日)

●ごみの排出量

ごみの減量効果 約 334 トン

327世帯分の年間ごみ排出量に相当 (334t / (2,802g-世帯・日 × 365日))

●二酸化炭素排出量

二酸化炭素排出量削減効果 約 1,685 トン

杉の木 120,357本分の年間二酸化炭素吸収量に相当

●原油使用量

原油の削減効果 約 617 kℓ

200ℓドラム缶 3,085本分に相当

(参考データ)

項目	取り組み前使用量 (協定4事業者分)	マイバッグ等持参率 (1年間平均)
レジ袋使用量	41,097千枚	82%
ごみ排出量	406.9 トン	
二酸化炭素排出量	2,054.9 トン	
原油使用量	752.1 Kℓ	

区分	数値	備考
全国での年間使用枚数	313億枚	
一人年間使用枚数	260枚	
レジ袋1枚の重量	9.9g	
レジ袋1枚の製造に必要な原油量	18.3ml	
レジ袋1枚あたりのCO2発生量	50g	製造～廃棄
1人1日当たりごみ排出量	1,082g	平成20年度
1世帯当たり人員	2.59人	平成22年1月
杉の木1本の年間二酸化炭素吸収量	14kg	